
山田邦子

コオロギJr.

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

山田邦子

【コード】

N1913I

【作者名】

コオロギJr.

【あらすじ】

名前にまつわるお話。

ボクの名前は山田邦子。

男なのにこんな名前をつけたクソ親父を何度殺そうと思ったことか
…。

実際、寝てる親父の部屋に金属バットを持って入ったことだってある。

でも、その時は親父のぐちゃぐちゃになった脳ミソを想像して止めた。

クソ親父の返り血なんて御免だから。

説明なんていらなと思うけど、この名前のせいでボクはずっといじめられてきた。

馬鹿にされ続けてきた。

当然だと思う。

ボクだって、「山田邦子」って言う男がいたら100%いじるだろうからね。

ボクは現在29歳。

もうすぐ30歳になる。

山田邦子(男) 30歳。

どうしようもない
こんなんじゃ身動きがとれない
結婚も就職も出来ない
歯医者にだっていけない

だから、今日、改名手続きをしようと思う。

新しい名前は決めてある。

「山田太郎」

モテる

うん、モテる

区役所に入る。

必要書類に書き込みをする。

旧名：山田邦子

新名：山田太郎

ボクは感慨にひたる
もういじられなくて済むんだ
誰からも名前で注目されない
29年間の苦悩の日々が終わる

ボクは山田太郎だ。

「山田さん、山田邦子さん」

区役所の職員に呼ばれた

「ハイ」

とっさに返事をしたボクを見て、まわりの人が驚いた

こんなのはもう慣れてる。

今日からボクは山田太郎なんだ

関係ない

笑いたい奴は笑えばいい。

ボクは山田太郎だ。

山田邦子じゃねー。

ボクはこうして「山田太郎」になった。

結婚も就職もうまくいった

歯医者も堂々と行けるようになった

息子には山田五郎と名付けた

娘には山田花子と名付けた

誰も名前ですら苦勞しないように心掛けた

男には男の名前があるし

女には女の名前があるんだ

そこさえ押さえておけば万事OKなのさ

ボクは49歳で死んだ

寝てるところを娘と息子に金属バットで殴られ殺された

でも殺された理由が未だにボクはわからない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1913i/>

山田邦子

2010年12月23日02時13分発行